

令和4年度 第4回高知市廃棄物処理運営審議会 会議録(要旨)

1 日時 令和5年3月2日(木)10:00 から 11:00 まで

2 場所 総合あんしんセンター3階 大会議室

3 出席者

〔委員〕

松本明会長, 須内宗一職務代理者, 西村博文委員, 島田和宏委員, 田中佐和子委員,
谷内俊輔委員, 中田陽子委員, 西澤窈子委員, 山本正篤委員

－以上, 委員 9 名出席で審議会成立－

(欠席委員＝

平島輝之委員, 宮地理香委員, 上田秀彦委員, 杉本幸三委員, 渡辺るみ子委員)

〔事務局〕

環境部: 高岡部長, 児玉副部長

新エネルギー・環境政策課: 田村課長, 田中課長補佐, 徳能係長, 楠本主査補

〔環境部出席者〕

環境施設対策課 小畑課長・谷副参事, 環境業務課 坂吉課長

清掃工場 戸梶工場長, 東部環境センター 山本所長

環境保全課 小原課長補佐, 廃棄物対策課 藤村課長

4 議題

第 4 次高知市一般廃棄物処理基本計画(案)の調査審議結果について

5 配布資料

(事前送付資料)

・会次第

・資料 1 第 3 回廃棄物処理運営審議会時の計画案からの修正箇所一覧

・資料 2 第 4 次高知市一般廃棄物処理基本計画概要版

・資料 3 第 4 次高知市一般廃棄物処理基本計画(案)

・資料 4 第 4 次高知市一般廃棄物処理基本計画について(提言書案)※確認用

(当日配布資料)

・配席図

・資料 5 第 4 次高知市一般廃棄物処理基本計画について(提言書案)

6 審議事項

議題 第4次高知市一般廃棄物処理基本計画(案)の調査審議結果について

〈委員〉

提言書にもある、循環型社会形成の視点において、リデュースの取り組みの浸透していないところを中心に普及啓発の強化を図っていくということで、浸透していないものを啓発していくことは難しいことと思われるが、やはり市民の意識を高めていくために、行政だけが頑張って旗を振っても、なかなか浸透していかないと思うので、その市民意識を高めていくための施策という点で、工夫して注力をいただければと思う。

〈委員〉

先日、近隣の町内で情報交換を行ったが、時間外の排出や未分別での排出、他地区からの持ち込みなど、町内会毎に課題がある。また、高齢化等の影響でステーション管理の担い手不足の問題も顕在している。

最近、市の収集の方が、生ごみや不燃物の収集の後の片付けをすごくきれいにやっていただいている。ありがとうございます。

〈委員〉

ふれあい収集と関連して、出たごみの処理を民生委員さんとか一人の方に負担をかけないように、みんなで助け合っていく高知市らしいやり方をみんなで検討していければいいと思う。

〈委員〉

細かな意見に真摯に対応していただき、充実した基本計画になったと思うので、計画目標のスローガンとした「3R 推進こうち 43COI プラン」など、市民に浸透するように普及させて欲しい。また、理想と現実が違う場面は出てくると思うので、常に現場の様子を踏まえて問題解決していただきたい。

今後、燃料費の高騰など、ごみ処理に関する問題も出てくると思う、市民に対しては、マナーを守らないと自分たちに返ってくることをコスト面も絡めてしっかり伝えてほしい。

〈委員〉

日々、再生資源処理の現場で、まだ使えるものが多く捨てられることや小型家電の廃棄の多さに驚いている。地域の資源・不燃物ステーションの担い手の高齢化についても、耳にすることがある。中高生に登校前にステーションの手伝いをしていただき、そういった体験をすることも、先々役に立つのではと思う。

〈委員〉

今回修正された箇所のうち、計画(案)の85ページについて、人口減少の進行と公共下水道及び浄化槽の普及という2つの要因があると思いますので、ここの表現方法としては、人口減少の進行とあわせて、という表現の方がわかりやすいと思う。

また、本計画が今後10年間の計画という中で、製品プラスチックのリサイクルの法制化がすでに始まっている。提言書について、審議会として「製品プラスチックのリサイクルの

実現を早期にされることを希望します。」くらいの文言を追加してはどうか。

〈委員〉

ここ数年で思うことは、問題とする部分はあまり幅広くなり、町内会の仕組みの部分がこのままでいいのか。また、事業所へのアプローチ、マナーを守らない方へのアプローチの部分で苦慮されているのではと思う。罰則の部分をしっかり見える化することも必要と思うし、監視という点では、テクノロジーを活用する方法もある。また、マナー違反を繰り返さないようにするためには、町内会での解決ではなく、市の援助も重要になると思う。そういった点も注視して、町内の負担軽減等も合わせてお願いしたい。

〈委員〉

提言内容も3つの視点で整理されていて、ごみの減量やリサイクルについては、市民の協力が重要で、記載のとおりと思う。また、町内で苦勞している内容については、ふれあい収集の拡充・粗大ごみの戸別収集の導入などの施策を大事にしていきたい。

〈事務局〉

委員の皆様の意見で共通しているのが、計画ができて終わりではなくスタートであるということと思う。まずは、市民・事業者・その他関係する方々へのアプローチが重要であると思うので、新年度に向けて、具体的な仕組みをしっかりと考えていきたい。

今日の意見を踏まえての修正等については、相談のうえ対応させていただく。また、新たな取組については、お時間をいただきながら、検討・研究を進めていきたいので、引き続きご協力をお願いする。

〈委員〉

作成した計画冊子は、こういった場所に配置するのか。

〈事務局〉

冊子として印刷すると同時に、皆様に広く見ていただくためには、デジタル媒体も有効と考えており、市のホームページへ掲載するなど自由に見ていただけるように整えたい。また、紙の形では、市の情報公開センターやオーテピア図書館に配置をするほか、廃棄物減量等推進員さんなどに参加いただいているごみ懇談会などの機会を通じて、説明させていただきたいと考えている。

〈会長〉

今年度、同時に環境基本計画の改訂も行っているが、この一般廃棄物処理基本計画は、より現場に近い計画であるため、計画の推進に当たっては、実際の状況を考慮しながら、場合によっては、計画の見直しや柔軟な解釈をしながら進めていくことも重要となる。引き続き審議会委員の皆様との協力関係を継続しながら、計画の効率的な執行に努めていただければと思う。

今後、提言書の修正について、事務局と会長で相談し、その後、高知市へ提言書を提出する流れとなる。この間の修正については、会長と事務局に一任する形とさせていただきたい。